第３号議案　２０２１年度事業計画（案）

特定非営利活動法人くろとり山荘

この４月から介護保険制度が改定されたが、新型コロナウイルスの影響もあり利用者自己負担２割や、要介護１・２の総合事業化、ケアプラン作成で新たな自己負担を徴収する案など多くの案が先送りとなった。このため３年後の介護、医療同時改定では大幅な改定が予想される。今回改定されたものには、①介護情報データーベースの拡充によるサービス情報提供の促進、②新型コロナウイルスによる介護報酬上の特例措置、③利用者の負担限度額、④補足給付における所得段階見直しがある。

介護報酬改定は基本報酬を中心に０．７％（コロナ関連０．０５％含む）のわずかな引き上げだが、利用者にとっては新たな負担増となる。今回改定の大きな特徴は厚労省へのデータ提出とフィードバックを活用するＬＩＦＥ（科学的介護推進体制加算）やこれらによるⅠＴ活用が強要され、データの提供と活用によってアウトカム評価（成功報酬）がされるように導かれている。介護保険制度に収入を依存している当デイサービスでは制度を利用しつつも、その制度に対する功罪を見極め、改善を働きかけていくことも必要とされる。

今年も新型コロナウイルスに対する感染防止対策が最優先となり、利用者、家族から介護難民を出さないように努めていく年となる。新型コロナ感染防止対策では、これまで通りの感染対策を徹底させると共に、利用者のワクチン接種状況確認と職員のワクチン接種を推進していく。万が一に備え、感染者が出た場合の対応や業務継続計画（ＢＣＰ）も国の指針などを参考にしながら早急に講じていく。また、コロナ対策や災害対策については町会と協力して行っていくことも検討していく。余裕のあるフェイスシールドやガウンは各町会と相談して山荘町４町会にも配布し、少しでも地域の感染対策に貢献できればと考えている。

昨年は新型コロナの影響もあり赤字経営となったが、今年度も入院や施設入所者が多くなることも予想され、厳しい経営が予想される。こうした中、新たな利用者獲得、利用者増をめざすとともに日常の人員配置もスタッフの協力を得ながら利用者数に見合った合理的な人員数にしていく。物品購入の見直しなど節約にも努め、経営分析も行いながら経営健全化に向けて経営努力を行っていく。同時にデイサービスの介護保険制度の活用だけでは今後も経営の厳しさは継続する可能性があり、保険外や新たな事業の検討も必要とされる。

一方、これまで同様「どのような利用者も受け入れていく」基本姿勢を貫き、個々の利用者、家族に寄り添ったデイサービスを目指す努力も重ねていく。スタッフに対しても労働意欲が向上していけるように介護職員処遇改善加算などを活用しながら基本給、一時金など給与のアップや労働環境の整備にも努めていきたい。

これからも「地域密着型通所介護運営推進会議」なども活用しながら利用者・家族、地域住民の方々の意見を伺い、よりよいデイサービス運営を進めていく。新型コロナ感染防止対策上、受入れが難しい面もあるが、多様なボランティアにも協力をいただきながらくろとり山荘を運営していく。一方、聴力障がい者などを受け入れていく場合、スタッフの手話能力を身に着けていくなど、それぞれがかかえているハンディに対応していく研修や受入れ体制も必要とされている。同時に、そうした利用者を支援していく和泉市等の公の支援体制も必要となってきている。

デイサービス管理者は昨年２度新たな管理者に代わり、利用者・ご家族、またケアマネへの信頼関係の低下にもつながった。もう一度初心に帰り一から信頼関係を築いていく心構えで臨みたい。同時に、新たなデイサービス、ＮＰＯ法人指導者や人材の育成に努めていく必要にも迫られている。そうしたことからも職員の研修等にも力をそそぎ多面的な人材育成に努めていく。研修については、介護保険により感染対策、災害対策、高齢者虐待、ハラスメントなど必須の研修項目と同時にデイサービスにとって必要な外部研修も加え全体のレベルアップ、共通認識を深めていく。

ＮＰＯ法人の目的である「どのような方でも安心して住み慣れた街で暮らすことができるように」していくため、多くの地域の方にご利用していただけるように努力していく。そのため、気軽にデイサービスを見学していただいたり、介護、医療で悩んでおられる方の相談窓口も行っていく。また、デイサービススタッフの協力も得て、感染対策や災害対策だけでなく夏祭りなどの地域・町会の催しや清掃活動などにもできるだけ参加を心がけ、日常的に地域の方々との信頼関係を築いていきたい。寄付していただいた竹林は伐採、整備だけでなくタケノコ掘りを行ってもらったり、多くの花を植えて道行く方々にも癒しの場として活用していただく。

事故防止対策は些細な事でも隠さないという姿勢を維持し、積極的にインシデント、アクシデント報告書を書き、同じ過ちを繰り返さないよう分析、改善を図って行く。また、苦情も利用者、ご家族、また地域の住民の方々から些細な事でも気軽に言っていただけるようなデイサービスを目指し、少しでも利用者、地域の皆様の期待に添えるようにしていきたい。

賛助会員が年々減少している中、ＮＰＯ法人くろとり山荘正会員に会員増の協力も訴えながら１００名以上の賛助会員が復活できるように努めていく。会報「山荘だより」は、これまで通り年４回の発行を行い、４００部配布を継続していく。新たなインスタグラムやホームページ、ブログの内容充実、更新も心掛け、みんなが関心いただけるようなものにしていき、デイサービス利用増にもつなげていきたい。

バイクに乗っている人たち

低い精度で自動的に生成された説明